

【本日の内容】

(1) 【徳島県精神保健センター】

「依存症相談」及び「断酒会」のご案内

(2) 【徳島県自殺予防協会】

「いのちのネットワーク研修会」のご案内

(3) 【労働者協同組合 低栄養防止コンソーシアム徳島】

「キッチンカーを活用した移動型共生拠点づくり」に係るクラウドファンディングご協力依頼

※ 本メールマガジンは、「とくしま孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」及び「生活困窮者自立支援プラットフォーム」に参加いただいている団体の方々、「徳島県生活支援ネットワークポータルサイト」にご登録いただいている団体の方々へBCC送付による一斉送信でお送りしています。

※ 両プラットフォームの詳細や、これまでのメールマガジン・バックナンバーにつきましては、こちらのURLからご参照ください。

「<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kenko/chiikifukushi/7244074/>」

(1) 【徳島県精神保健センター】

「依存症相談」及び「断酒会」のご案内

アルコール等の依存症は、自死と強い関連があることが指摘されています。WHO(2002)の調査によると、自死の背景として、

約20%の人が「物質関連障害」の状態であったことが分かっています。物質関連障害とは、アルコールや覚醒剤など有害な物質の使用や

依存を指します。加えて自死されたときに30～40%の人が直前に飲酒していたという報告もあります。

アルコール依存症の治療は、精神科での治療に加えて自助グループでの活動が大切と言われています。断酒会は、アルコール問題に

悩む人たちが互いに理解しあい、支え合うことによって問題を解決していく自助グループの一つです。長い間断酒に成功している方が

酒害相談員として、新たにアルコール問題に悩む方やそのご家族の相談に乗ってくれます。各地域にいらっしゃるの

で、遠方にお住まいの方でも利用しやすいと思います。

また、当センターでも、「とくしま自殺予防センター」としてだけでなく、「徳島県依存症相談拠点」として、様々な依存症について

ご本人・ご家族・関係機関からの相談を受け付けています。

周囲にアルコール問題のことで悩まれているご本人やご家族がいらっしゃったら、当センターの依存症相談や断酒会を御案内ください。

※完全予約制※【依存症相談】（藍里病院 吉田医師）

場所：徳島県精神保健福祉センター

日時：第二・第四月曜日 15～17時

（088-602-8911・予約受付時間：平日9時～16時）

※予約なし当日来所可※【お酒に関する何でも相談】（断酒会所属の酒害相談員）

場所：徳島県精神保健福祉センター

日時：第一・第三水曜日 13～15時

（問合せ）NPO法人 徳島県断酒会

電話番号 088-641-0737

HP <https://tokushimaken-dansyukai.or.jp/>

（２） 【徳島県自殺予防協会】

「いのちのネットワーク研修会」のご案内

いのちの希望では、自ら命を絶つことを少しでも防ぐために、電話相談だけでなく関係機関で情報を共有し連携して活動することを

目的とした「いのちのネットワーク研修会」を長年継続しております。この研修会は、毎月第一月曜夜、ふれあい健康館（Zoomでも参加可）

で開催しております。

2026年度のテーマは、『わたしの転機』です。苦しみや悲しみを通して自らの生き方を大きく変える転機となった「人との出会い」、

「書物や講演でのことば」、「身の回りで起こった事件」などについてご自分が経験した実体験をリアルに語っていただいております。

どなたでもご参加いただけ、参加費無料ですので、是非ご参加ください。

【開催日】2026年7月6日（月）18：30～20：00

【会場】徳島市ふれあい健康館（Zoomでの参加可能）第一会議室

【講師】ゆずりはcare step 看護師・保育士 足立 雅代 氏

【演題】「ありのままでいい」と思えるようになった過程
～看護・子育て・異文化体験からみえた心の守り方～

（内容）「ありのままでいい」・・・その言葉を自分のものにするために私はいくつも転機が必要でした。嫁姑問題・看護・

子育て・海外で暮らした日々。葛藤の先にみえてきたのは、境界線を引くことや小さな違和感に耳を澄ませるという

シンプルな心の守り方です。他者の痛みに寄り添う前に、まずは自分自身の味方になるということ。

自分を許すということがどんなことをもたらすのか、お話ししたいと思います

【会費】無料

【申込先】いのちの希望事務局（徳島県自殺予防協会 菊池 正三）

電話088-652-6171 Mail：ikiru@inochinokibou.or.jp

（３） 【労働者協同組合 低栄養防止コンソーシアム徳島】

「キッチンカーを活用した移動型共生拠点づくり」に係るクラウドファンディングご協力依頼

当組合では、ほっとことも食堂や医療的ケア児家族支援、高齢者の居場所づくりなどの活動を通じて、「食べることが、人と人をつなぐ力になる」ということを実感してきました。しかしその一方で、食べることや人とのつながりを

望みながらも、さまざまな理由で支援や交流の場へ足を運ぶことが難しい方々が地域には数多く存在します。

主な課題は以下のとおりです。

○既存の「待つ支援」における限界と孤立の深化

低栄養やフレイルのリスクが極めて高い高齢者の閉じこもり、及び孤食の進行。

○医療的ケア児とその家族における社会インフラの不足

外出機会が著しく制限されることによる、地域コミュニティとの繋がりづくりの難しさ。

○地域コミュニティの希薄化とアクセスの格差

中間地域や離島における多世代交流の減少、および買い物弱者・健康格差問題。

○災害時におけるよう配慮者への食料支援体制への不安

災害発生時、高齢者や医療的ケア児等のような配慮者に対して、個々の特性に適合した迅速な食料支援体制の不足。

足。

これらの課題解決に向け、地域住民の生活圏域へと直接出向く「アウトリーチ型支援」への転換を目指すため、キッチンカーを活用し、

○医療的ケア児と家族が地域で同じ食事を楽しめる環境づくり

○多職種チームとICTツール『栄養ケアパッド』を活用した健康・栄養相談

○食の多様性への対応（嚥下調整食等の提供）

○多世代他が有機的に繋がる居場所づくりと移動循環支援

に取り組んでいきたいと考えております。

この活動を実現するため、現在クラウドファンディングに挑戦しています。高齢者、医療的ケア児とその家族、障害のある方、

子育て世代など、誰もが食べることを諦めない地域づくりを目指しています。

本活動の趣旨にご賛同いただけましたら、ご支援・ご協力をいただけますと幸いです。

<クラウドファインディングURL>

https://camp-fire.jp/projects/951054/preview?token=183y11u3&utm_source=qr_code

★★

生活困窮・孤独孤立支援プラットフォーム事務局

（徳島県 保健福祉部 地域共生推進課内）

電話：088-621-2179

ファクシミリ：088-621-2913

Email：chiikikyouseisuishinka@pref.tokushima.lg.jp

★★



すべての世代に温かい食事と笑顔を
食べることを
あきらめない地域へ



あなたの地域に食事を通じて
食べる喜び、健康、笑顔を届けたい。
届けるために
クラウドファンディング挑戦中

あきらめない食支援はこちら⇒



お問い合わせ：労働者協同組合 低栄養防止コンソーシアム徳島
TEL：090-5713-1116 メール：construction.tokushima@gmail.com

